



災害に備えよう！



災害は突然起こります。

ペットのために、日頃から対策をしておきましょう！



1. 自宅の減災対策

住み慣れた自宅で過ごせる在宅避難は、ペットのストレス軽減が期待できます。
家具の転倒防止対策とペットの逸走防止対策をしておきましょう。

2. 避難用品の備蓄

地域防災拠点には、フードやケージ等、ペット用品の備蓄はありません。
また、支援物資が届くまでは日数を要するため**少なくとも5日分(できれば7日分)以上**備蓄しておきましょう。

3. ペットの預け先の確保

あらかじめ、ペットの一時預け先を確保しておきましょう(親戚、知人、ペットホテル等)。
特に大型の動物、危険な動物、専用の飼養設備が必要な動物を飼育している人は必ず事前に預け先を確保しておきましょう。

4. 飼い主の明示

迷子札やマイクロチップ等、飼い主がわかるものを着けましょう。小動物の場合には、動物の種類に応じて足環・耳標などもあります。

5. 避難先で過ごせる工夫

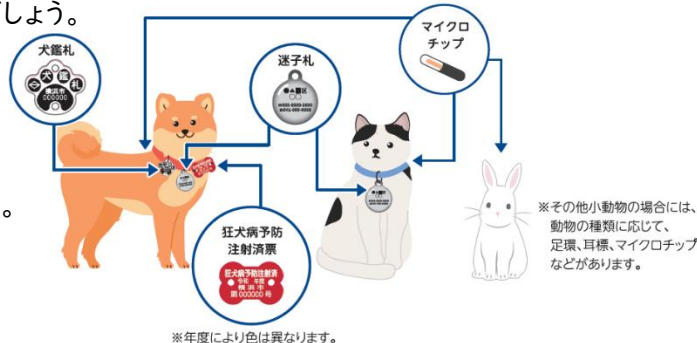
地域防災拠点では、ケージでの飼育管理が基本です。
飼育しているペットが避難先で過ごせるよう、避難用品やその他の工夫を考えておきましょう。例えば、温度調節が必要な場合は保冷剤・使い捨てカイロ等があるとよいでしょう。

6. 健康管理

飼育動物に応じた健康管理、不妊去勢手術、
混合ワクチン接種、ノミ・ダニ等の駆除を行っておきましょう。

7. 避難場所・避難経路の確認

発災時、安全かつスムーズにペット同行避難できるよう、地域防災拠点のペット受け入れ体制の確認とペットを連れて避難できる経路を把握しておきましょう。



災害時の対策について、
横浜市動物愛護センター
ホームページもご確認ください。

横浜市 ペット 災害

検索



発行元：横浜市動物愛護センター
〒221-0864 横浜市神奈川区菅田町75-4
TEL：045-471-2111 FAX：045-471-2133

令和8年8月改訂

